

景況実感調査(2015年8月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載していません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 稼働日は18日だったが、得意先もほぼ同日数であり、売上、数量とも対前月比約10%減となった。休み明けの世界同時株安と、トヨタの6,000円集購価格下げ、スクラップの市況悪化、アメリカのAD決定等、ネガティブなニュースばかりとなり、秋以降の回復も期待外れに終わる可能性が広がった。少なくとも市況上昇のムードは無く、じり安の中、得意先も当用買いに終始している。政府も経済対策、株価対策に軸足を移して取り組まないといけなし、メーカーも流通も下をくぐるような対応は断じて許されない。
- ② 海外情勢が悪く、輸入材の流入が増えると思慮。今以上の値崩れが起き、価格のみが独り歩きすると思慮。
- ③ 海外市況の落ち込みに、国内も影響を受けている状況。自動車、建築の需要回復に期待している状況だ

中板

- ① 市場は秋需に期待しているが、具体的な話はまだ聞こえてこない。9月も低調な流れが続くだろう。

厚板

- ① 8月も、仕事量は低調であった。秋から春まで鉄骨の仕事はある。

一般形鋼

- ① 動きが良くない。一部の物件しか動いていない。
- ② 前月比4営業日減であったが、諸調査項目は横這いかやや減少で推移した。秋の書き入れ時を迎えるにあたり好い兆候である。目下、中国起因の経済減速の影響は散見せず。

HI形鋼

- ① 稼働日数の影響もあるが、それ以上に出荷量が減少した。秋需も遅れている話が出ているが、しばらく辛抱が必要。
- ② 在庫は減ってきているが、需要が伸びているとは感じられない。市況の下げが止まらないと、需要増加につながらない。したがって、底値を出すということが必要である。

異形棒鋼

- ① 店売りの8月は動きが悪く、9月に入っても同じ状況。価格に関しては、8月は変わらず9月に入って1円/kgがた下がった。悪い要因が新聞等書いているが、売り込んでも、今ユーザーは必要な物しか買わない。在庫も入れ替わっている訳ではないし、需要は低位安定だが、若干の秋需はある。この中で、弱含みではあるが横這いで推移すると思う。
- ② 8月は夏季休業があったものの、予想以上の荷動きの悪さだった。

車径量形鋼

- ① 首都圏のみ、やや好転してきた。

鋼管

- ① 7月後半から荷動きがやや回復基調だが、前年比横這い。9月も微増に止まりそうである。
- ② 7月に比べて日数が足りない。日当たりでは横這いだが、価格がジリジリ下がっている。利益を確保するためには価格維持を目指したいが、現状数量が伸びず苦慮している。今後3ヶ月も、9月以降に期待したい。年内は大きな変化はなく、厳しい状況となりそう。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は自動車メーカーや車種によってバラツキがあるものの、下期は多少の回復を期待している。建設機械関連は、中国の低迷や排ガス規制前の駆け込みの反動減などにより低迷しており、とくに中・大型機種は今後も厳しい状況が続くと思われる。工作機械関連は、やはり中国関連が減速しつつあり、先々不透明となっている。店売りの荷動きは建機の低迷もあり、低調な動きが続いている。市況は弱含み横這いで推移している。
- ② 店売りの状況は低調のまま推移している。トヨタ集購価格の発表を受け、どの程度の影響が出るのか注意する必要がある。

その他

<曲げ加工>

- ① 予想通り夏休みに入って加工売上が伸びず、昨年同期並びに先月よりも10%以上の減少で、まだ期待しているものの、波に乗れないのが現状である。曲げに関して大きなプロジェクトが無いのが苦勞するところである。

<スクラップ>

- ① 国内外ともにスクラップが売れないため、価格が下げ止まらない。

<金属表面処理加工>

- ① 8月は新ラインでの稼働2ヵ月目となり、前月比稼働日数減にもかかわらず物件物、紐付きを中心に扱い処理量増、稼働時間短縮にて推移した。スポットも前月比10%増。引合い、成約ともに活発なことから付加価値の高い加工を多く受注していることから、9月も高い操業を予定。